

【褒賞登録申請書・概要書】

事業名称	子供パレード
申請部門	対外事業部門

申請 LOM	一般社団法人広島青年会議所		
LOM 番号	1 6	LOM の人数	9 7 名
理事長名	林 秀樹		
担当者名	蔵田 勇祐		
担当者携帯番号 (半角)	080-3876-1011	担当者 E-Mail (半角)	kurata.yusuke.1192@gmail.com

本事業の参加者	会員数	延べ 1 1 9 名	会員参加率	1 0 0 %
	関係者数	3 0 名	一般参加数	1 4 1 名
事業実施に至った背景 200～400 文字程度	<p>ひろしまフラワーフェスティバルは、「みんなが主役の新しい祭り」として、広島に住み暮らす市民が自らの手で創り上げる祭りとしてスタートしました。2024年ひろしまフラワーフェスティバルは、コロナ禍を乗り越え、「待ってたよ 花いっぱいの あふれる笑顔」をテーマに5年振りの通常開催となります。</p> <p>その歴史の中において、2002年までは、「こどもの日パレード」が開催され、子どもたちの誰もが参加することができ、参加した子どもたちは、楽しい経験と思い出を語り合ってきました。ひろしまフラワーフェスティバルのパレードでは県外各地からの参加者も活躍していますが、広島市民自身が活躍し、世代共通の思い出に残る体験をする場があれば、この祭りの魅力が広がり、自らのまちを愛するきっかけとすることができます。</p> <p>世代を超えて思い出を語り合う機会をより増やすことで、市民が自らの手で創り上げるひろしまフラワーフェスティバルを心待ちにするとともに、広島のマチの未来に夢や期待を持つことができます。</p>			
事業の目的 200～400 文字程度	<p>広島のマチにおいて、世代を超えて笑顔で思い出を語り合う機会を創出すること</p>			
事業の概要 200～400 文字程度	<p>2024年ひろしまフラワーフェスティバルにおいて、5月3日に行われる花の総合パレードに参加し、広島に住み暮らす小学生が主役となるパレードを行いました。第1回ひろしまフラワーフェスティバル（1977年）から第26回ひろしまフラワーフェスティバル（2002年）まで行われた、5月5日のこどもの日パレードにおける団体やグループに所属していなくても一般参加可能なパレードを、小規模な開催形式で復活させました。</p>			

	参加者を150名公募し、10名（うち、2名は花車のデザイン画に選出された子ども、8名は応募者の中から抽選）が花の精として花車に乗車し、他の参加者は歩いてパレードに参加していただきました。	
開催時期・	2024年 5月 3日（土）	
タイムスケジュール	11:00～14:30	
開催場所	平和大通り	
事業区分 新規・継続	新規	
公益・共益区分	公益事業	
事業総予算・収支 200～400 文字程度	予算上の工夫と、予算の内訳の概算を記述してください。	
	【収入】 ￥3,900,000 (内訳) 企業協賛金 : ￥1,900,000 特別事業費 : ￥2,000,000	
	【支出】 ￥3,775,611 (内訳) 花車装飾費等 : ￥3,154,419 参加記念品代（Tシャツ等）: ￥485,048 保険料 : ￥83,432 ポスター作成費 : ￥23,760 マニュアル作成費 : ￥17,800 事前説明会会場費 : ￥9,370 振込手数料 : ￥1,782	
	【収入差額】 ￥118,527	
	協賛企業に「団体やグループに所属していなくても一般参加可能なパレードの復活を目指したい」と事業の趣旨を説明し賛同いただくことで、多くの協賛金を得ることができました。	
	共催	なし
	協賛	物品協賛 : 早稲田神社 株式会社河崎組、株式会社荒谷建設コンサルタント 他 36社
	後援	なし
	その他	事業告知協力: ひろしまフラワーフェスティバル実行委員会 車両協力 : 浅田運送株式会社、広島日野自動車株式会社

		物品協賛 : 早稲田神社
事業対象者	広島市民（小学生）	
行動 (ACTION TAKEN) 200～400 文字程度	事業の調査、立案、会議の流れ、実施活動について記入	
	<p>1977年にスタートしたひろしまフラワーフェスティバルの第1回目から、5月5日に子どもたちが誰でも参加でき、元気で楽しい姿を見せるパレードとして、「こどもの日パレード」が開催されてきました。参加した子どもは、楽しかった経験や思い出を持ち帰り家族らと語り合ってきました。しかし、2002年を最後に開催がなくなり、広島に住み暮らす市民が誰でも参加できるパレードがなくなり、世代を超えて思い出を語り合う機会が失われてしまいました。</p> <p>そこで、「みんなが主役の新しい祭り」として始まったフラワーフェスティバルの原点に立ち返り、誰もが参加でき、市民が活躍し、世代を超えて思い出を語り合う機会を創出することを目的に、子どもであれば誰でも参加できる「こどもパレード」を事業として実施しました。親・祖父母世代が体験してきた思い出と共通の思い出を語り合うことで、広島のまちの未来に夢や期待が広がっていくと考えています。本事業実施後、参加者アンケートを行い、継続を望む声が多く集まり、事業の検証を含め、フラワーフェスティバル実行委員会へ報告を行いました。</p>	
結果 (RESULT) 200～400 文字程度	複数の短い文章になるように下記項目毎に簡潔に記載 1. 目的がどのくらい達成できたか 2. 上記の結果の想定外の結果 3. 上記の結果の確認方法 4. 検証結果	
	<p>1. 目的がどれくらい達成できたか 募集開始11日間で定員150名に達しましたが、直前のキャンセル5名と当日の無断欠席4名により、参加者数は141名でした。</p> <p>2. 上記の結果の想定外の結果 当初は約20日間で150名の登録を目標としていましたが、想定を大幅に上回る速さで定員に到達しました。このことから、本事業が子どもたちや保護者にとって期待度が非常に高く、求められている企画だったことが分かりました。</p> <p>3. 上記の結果の確認方法 参加した子どもたちや保護者の反応、参加者と協賛企業へのアンケート結果、ひろしまフラワーフェスティバル実行委員会に寄せられた感想を総合的に検証しました。</p>	

	<p>4. 検証結果</p> <p>アンケートでは参加者の90%（127名）が「とても楽しかった」「楽しかった」と肯定的に回答し、参加後に家族内で楽しく語り合ったという声が多数ありました。子どもたちからは「疲れた」「暑かった」といった感想もありましたが、保護者からの励ましが良い思い出となり、再度参加したいとの意欲につながったようです。沿道の観覧者からも来年の参加希望や継続を求める声が多く寄せられ、本事業が世代を超えて笑顔を共有する機会を創出できたと考えます。</p>
<p>地域社会への影響</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>この事業が与えた地域社会への影響を記入</p> <p>子どもパレードの参加受付後からパレード、解散まで、終始子どもたちや保護者の笑顔で溢れていました。受付時に元気に挨拶をしてくれる子や描いてきたサテンシールの絵を見せてくれる子、花車の前で嬉しそうに親と一緒に写真を撮っている子など、子どもパレードを楽しみに来てくれたことを感じました。パレードは、一人もリタイアすることなく歩ききってくれました。花車に乗った子どもたちは、長時間沿道の人たちに注目され、笑顔で旗を振り続けることに最後は少し疲れ気味ではありましたが、「みんなが手を振ってくれて嬉しかった。」「疲れたけど楽しかった。」などの声があり記憶に残る思い出になったようでした。解散後、保護者のもとに駆けつける子どもたちの様子、うれしそうに記念撮影をする様子もたくさん見ることができました。世代を超えて思い出を語り合う場を創出することで、広島のマチの魅力を持続させることにつながりました。</p>
<p>LOM への影響</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>この事業が LOM に与えた影響を記入</p> <p>この事業を行うことで、会員が子どもたちに真剣に向き合い、広島のマチの未来に向けて、これまで以上に主体的に取り組むことができたと感じています。</p> <p>子どもたちの貴重な時間を預かることに対する責任を感じるとともに、今後の広島の子どもの活躍の場を作るという使命感もあり、LOM メンバー全員が事業をより良くするためアイデアを出しながら進めることができました。LINE オープンチャットを使用して動画を送る、アンケートの回収率を上げるために、アンケート回答後に写真をダウンロードできるようにするなどのアイデアは、全員が当事者意識を持ち、この事業を成功させたいという気持ちが一つになったからだと思います。</p>
<p>事業の長期的な影響</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>この事業の期待される長期的な影響を記入</p> <p>本事業は、ひろしまフラワーフェスティバル実行委員会に対しても、地域の子どもたちが主役になる場を創るきっかけとしていただくことができ、広島のマチの未来に向けて大きな一石を投じた事業になりました。</p>

<p>考察や推奨</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>検証を踏まえた次の行動を記入</p> <p>協賛企業からのアンケートでは、協賛理由として広島のまちのために協賛いただいた企業が大多数であり、特に「子どもたちが笑顔になる取り組みに賛同したため」という回答が半数を占め、来年以降の協賛に前向きな企業が 27 社（85%）あったことから、協賛企業からも評価いただけたと考えられます。</p> <p>また、中国新聞の記者が沿道にいた家族にインタビューしたところ「みんな楽しそうだった。来年はうちの子も参加させたい」という声がありました。他にもとても「良い企画だった」「これからも続けて欲しい」という声もあり、今後の継続性も重要です。</p>
<p>改善点</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>どのような改善点がありますか？</p> <p>集合時間の 1 時間 30 分前の 9 時 30 分から受付を開始し、受付終了直前に来ないようにアナウンスをしたことで、受付が混み合って混乱するという事態はありませんでした。しかし、直前に来る方が多かったのは事実であり、受付後名前シールに名前を書く場所は混み合ってしまいました。今後人数を増やす場合は、受付をもっと広くとるか、グループごとに受付時間を変えるなどの工夫が必要だと考えます。</p>
<p>その他</p> <p>200～400 文字程度</p>	<p>その他のアピールや補足があれば記入</p> <p>本事業は「ひろしまフラワーフェスティバル」において、踊りや団体所属に関係なく広島の子どものすべての子供が主役となれるパレードを実現しました。委員会は常に子どもの目線を意識し、子どもが世代を超えて語り合える思い出づくりを目指しました。募集は予想を上回る速さで定員に達し、口コミで参加者が増えたことは、本事業が子どもや保護者の期待に応えた証明です。関係企業や地域メディアの協力、LINE を活用した情報発信など、多様なアイデアで一体感を生み、パレード参加による達成感が子どもたちの自信へとつながりました。</p>
<p>当日のストーリー写真 (PDF)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 添付書類は 1 ファイルにつき A4 用紙で 2 枚以内（1 枚につき添付できる写真は 6 枚までとします。）で作成してください。 作成後 PDF 形式に変換して提出してください。 別途、事業に関する代表的な写真を 2 枚 JPEG データーでも提出してください。（PDF 資料と同じものでもかまいません） 著作権及び肖像権を侵害する形での画像の使用は禁止します。
<p>メディア掲載写真 (PDF)</p>	
<p>その他参考資料 (PDF)</p>	
<p>著作権及び肖像権</p>	<p>権利侵害が無い事を確認したらチェックをしてください。 <input checked="" type="checkbox"/></p>

当日のストーリー写真

【子どもパレードの説明・スタートラインへの移動】



全体写真撮影後、旗の色ごとに移動し、子どもパレードの説明を行いました。パレード中は自分が持っている色の旗の人についていくこと、信号で止まる回数、熱中症にならないよう水分補給をすること、パレード終了後お菓子とジュースを配ること等を伝えた後、旗の色ごとにスタートラインへ移動しました。

【子どもパレード】



【子どもパレード】

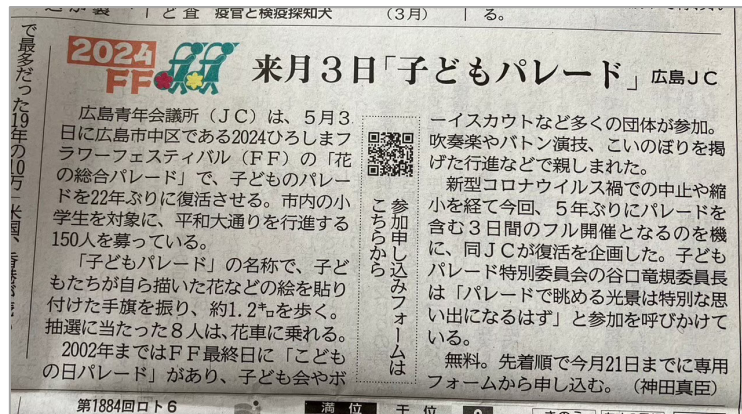


ひろしまフラワーフェスティバルをイメージしたTシャツと、子どもたちが自由に絵を描いた旗を持ち、生花のコサージュを好きな場所に身に付けて、中区田中町をスタートし、平和公園まで1.2kmをパレードしました。

受付を手伝ってくれた山陽女学園中部・高等部ダンス部の学生が、ダンスをして盛り上げてくれました。子どもたちも楽しそうに歩いていました。信号で止まった際は、水分補給を促すなど、特に大きな問題なく、パレードを終えることができました。

メディア掲載写真

【事業実施前】



▲中国新聞 4月5日(金) 朝刊



▲中国新聞 デジタル



▲RCC運営 イベント告知アプリ「IRAW」



▲Instagram



▲Facebook

【事業実施時および後日】

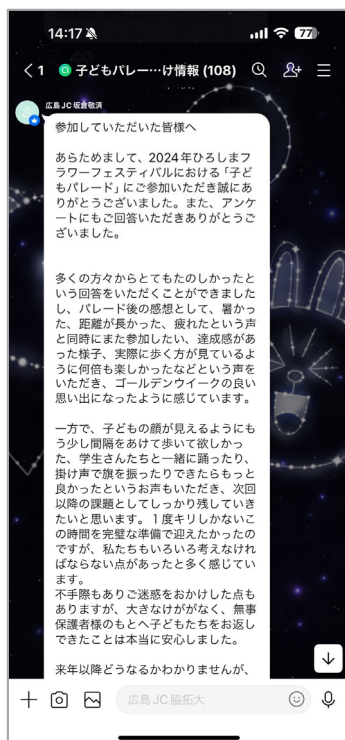


▲中国新聞



▲RCC「花の総合パレード 中継」

アンケート締切後の5月13日、子どもパレードへの参加やアンケート回答の御礼を伝えるとともに、広島青年会議所の紹介や来年以降開催する場合はオープンチャットを引き継ぐ旨を配信しました。また、当日の様子を撮影した動画をYoutube配信し、250回以上の再生がありました。



▲御礼および紹介



▲動画のリンク



◀ 動画 QRコード



▲Youtube 動画

花車のデザイン

小学生の子どもたちが主役となる「子どもパレード」を行い、世代を越えて笑顔で思い出を語り合う場を創出することを目的に、主役の子どもたちがデザインした花車を作成しました。

広島青年会議所メンバーの子どもや親戚、友人などの小学生を対象に、花車のデザインを所定の用紙で募集しました。合計19作品の応募があり、協賛企業の投票で2点の絵を選出しました。

【募集】

花車デザイン依頼書を、広島青年会議所メンバーに配布し、子どもや親戚、友人などの小学生に、「はな」と「へいわ」をテーマに、花車のデザインを描いてもらうよう依頼しました。



▲花車デザイン依頼書



▲デザイン記入風景

【応募結果】

2024年3月5日(火)～3月18日(月)までの2週間募集を行い、合計19作品の応募がありました。うちデザインに決定した2つの絵とともに協賛企業のロゴを入れ、花車が完成しました。

